

三月二十三日(月)

春彼岸法座／永代墓納骨者追弔法要

朝席 9時半から

永代墓納骨者追弔法要 1時から

昼席 1時半から

講師 庄原市尾引町 妙延寺住職

尾野義顕師

妙延寺の尾野義顕師は、任職に就任されてから、布教師としての活動を本格的に始められ、御法を広めていらっしゃいます。庄原市内・比婆組の真宗寺院からは久しぶりのご講師様で勝光寺には初めてのご出講です。どうぞお聴聞ください。

春と秋の彼岸法座では、勝光寺永代墓に納骨されている皆様の合同追弔法要をお昼にお勤めいたします。その後引き続き、昼席の法座をお勤めします。

二〇二六年(令和8年)

法座日程のご案内

本年のご法座の期日を前回もお知らせしましたが、お盆法座の日程も決定いたしましたので、ご門徒の皆様ご案内させていただきます。

どうぞ、お誘い合わせの上、お参りくださいますよう、ご案内申し上げます。

本堂にエアコンが設置されましたので、6月・8月・9月の法座も涼しくお参りしていただきことができます。お盆法座の日には「夕涼み会」も予定していますのでお子様連れでお越しください。

彼岸法座

三月二十三日(月)

朝九時半 昼十三時半

講師 尾野 義顕 師

春彼岸法座

三月二十三日(月)

朝九時半 昼十三時半

講師 庄原市尾引町 妙延寺 尾野義顕 師

永代経法座

四月二十五日(土)

朝九時半 昼十三時

講師 庄原市高野町 西教寺 藤井義英 師

夏法座

六月十三日(土)

朝九時半

講師 世羅町 照善寺 藤井晃宣 師

午後は地区役員研修会・護持会総会を開催します

盆法座

八月十六日(日)

朝九時半 講師 当山住職

午後は第3回「夕涼み会」を催します

秋彼岸法座

九月二十五日(金)

朝九時半 昼十三時半

講師 府中市上下町 専教寺 鎌倉義雄 師

報恩講法座

十一月二十四日(火)

朝九時半 昼十三時

講師 三原市大和町 教専寺 福間義朝 師



勝光寺ホームページ

勝光

令和8年3月号
庄原市三日市町 276-3
浄土真宗本願寺派 勝光寺
Tel 0824-72-0552
Fax 0824-72-0910

お彼岸は、単にお墓参りに行くだけでなく、「生きていく人間が仏のような心に近づくための修行期間」でもあります。この期間に実践すべきとされる6つの徳目を、仏教では「六波羅蜜(ろくはらみつ)」といいます。

「修行」や「徳目」と言うと堅苦しく聞こえますが、これは現代の私たちの生活、そして子供たちの教育にも通じる大切な「心の持ち方」を説いたものです。

- 布施「見返りを求めず施すこと」
わかりやすい言い換え「親切にすること」
- 持戒「戒律を守り慎むこと」
わかりやすい言い換え「ルールを守る」
- 忍辱「苦難に耐え忍ぶ心」
わかりやすい言い換え「我慢する心」
- 精進「たゆまず努力する心」
わかりやすい言い換え「努力する心」
- 禅定「心を静め動揺しない心」
わかりやすい言い換え「落ち着く心」
- 知恵「真実を見極める心」
わかりやすい言い換え「正しく考える心」

救いについて

〇〇宗教ですくわれた。という人がいます。では、浄土真宗ですくわれるとはどういうことなのでしょう。

私たちの回りを見ただけでもどれくらい宗教があるのでしよう。「病気を治す」ことを売り物にする宗教もあれば、憑き物を落とすことを売り物にする宗教もあります。商売繁盛・水子供養を売り物にして信者を集めている宗教もあります。

一般的に言って、仏教以外の多くの宗教は、私たちの願い（欲望）が満たされたとき、または自分の都合のいい祈りが通じたときを、「救われた」と言っているようです。

仏教の「救い」は、自らの目覚めなくして説かれることはありません。仏教は、いろいろなじがらみに束縛されている私たちを、解脱させることを目的とした教えです。すなわち、仏教の救いとは、今の言葉で云うと、諸々の束縛から解放されることなのです。では、浄土真宗の救いとはどういうものなのでしょう。親鸞聖人

は、「病気を治す」こと、憑き物を落とすこと、商売繁盛・水子供養、願い（欲望）が満たされることを、救いとはおっしゃっていません。

「救う」

親鸞聖人は「すくい」を「救」「拯」「済」の字で明らかにしてください。「救」は救護という熟語があるように「まもられる」という意味があり、護られていることに目覚めることが救われることだと示してください。

「一念多念証文」という書物で、親鸞聖人は、「まもるといふは、異学・異見のともがらにやぶられず、別解・別行のものにさへられず、天魔波旬にかされず、悪鬼悪神なやますことなしとなり。」とお示しになっています。この意味は、「大安だ・仏滅だ」と日の善し悪しを云ったり、家相・墓相などまじないや占いに走っている人が、阿弥陀様のお心に会えば、何からか惑わされない人生をいただくことができるのだ、ということです。

「拯う」

この字は『すくい上げる』という意味です。怒りに身を焦がし、むさぼりの心におぼれている私たちを、すくい上げてくださるといふ意味です。自らの煩惱を当然と受け止め、正当化している私たちが、阿弥陀さまの「拯い」に目覚めるとき、煩惱を正当化できなくなります。すると、煩惱の泥沼から抜け出せて開放されるのです。

「済う」

この字は「わたる」「わたす」という意味です。どこからどこに渡るのかというと、迷いの世界（穢土）から悟りの世界（浄土）へ渡ると云うことです。

浄土真宗の救いとは、「まもられ」「すくいとられ」命終わると同時に浄土にわたり、仏に成らせていただくことなのです。

念仏奉仕団 京都・滋賀の旅

参加者募集

別刷りのチラシでお知らせしたとおり、京都・滋賀への団体旅行を企画しました。

6月4日から6日までの二泊三日の旅です。

4日(木)

7:20 石塔駐車場発
車中 昼食

12:30 本願寺 着
奉仕活動

16:50 聞法会館 泊

5日(金)

8:40 本願寺
奉仕活動
12:00 昼食

12:50 本願寺 発

13:10 大谷本廟参拝
比叡山 参拝・観光

17:30 おごと温泉 泊

6日(土)

8:30 ホテル 発

9:15 錦織寺参拝
(真宗木辺派本山)

10:30 本願寺八幡別院参拝

11:40 近江八幡市観光
昼食

13:00 出発

18:40 庄原 着

昨年の参加費は一泊で七万円でしたが、今年は万博の影響もなく、六万五千円の旅費を予定しています。参加申し込みは勝光寺までご連絡ください。

仏教婦人会より

リフレッシュ会

3月11日(水)

午前10時～11時

勝光寺本堂

音楽に合わせて体操して体も心もリフレッシュしましょう。

皆様、どうぞご参加ください。

講師 石井克子 先生

仏教世年会より

令和8年5月の活動

朝事(晨朝のお勤め)

5月9日(土) 午前七時から

勝光寺本堂

総会

5月4日(日) 午後6時半から

勝光寺本堂